

## 地球温暖化問題について



なりさわひろこ  
成澤博子さん

東京から札幌へ来て5年になりますが、\*アイドリングの多さに驚いています。オゾン層の破壊や地球温暖化について危機感を持っている人が少な過ぎると思います。また、清田区には、地下鉄もJRも通っていないため、車がなければ生活できません。環境のためにも地下鉄の延長を視野に入れた公共交通の整備が必要なのではないでしょうか。

\*駐停車時に自動車のエンジンを掛けっ  
放ししている状態

### ▶市長から

確かに地球温暖化は切実な問題です。市では二酸化炭素の排出量を減らすため省エネ行動を徹底し、平成15年度には平成11年度に比べ、約13億円もの削減に成功しました。ホテルやデパートなどの大規模施設でも同じような取り組みが進むと、大きな成果が出るのではないのでしょうか。

また、公共交通については、現在の地下鉄の平均利用者数は1日56万人ですが、大雪が降った日は80万人に達することがあります。市民の皆さんが普段から「公共交通を使おう」という意識を積極的に持っていただければと思います。

## 産業廃棄物最終処分場の設置について



ふじくらじゅんろう  
藤倉仁郎さん

昭和50年から清田に住んでいます。有明地区は沢の上流にあり、平成12年には雨で土砂崩れが起きました。そのような場所にこれから処分場を造り、産業廃棄物を埋めるというのは、下流や周辺的环境に悪影響を及ぼすのではないのでしょうか。

### ▶市長から

有明地区に視察に行き、土砂崩れの現場も目にしてきました。そして、現在専門家や企業とさまざまな調査や話し合いも行っています。産業廃棄物についてはしっかりとしたガイドラインを策定すると同時に、札幌のごみはすべて市内で処分するという原則をどこまで貫くかについても議論が必要ですね。

※産業廃棄物最終処分場を計画した業者は、昨年十一月に「設置許可申請」を取り下げました。

### 住民参加で街が変わる

## 広げよう! まちづくりの輪



里美ふれあいクラブ  
運営委員長  
しみず しん  
由水 伸さん

多くの人々の参加で  
まちづくりを

里塚・美しが丘  
まちづくりセンターの巻  
251 6353

市内87のまちづくりセンターから

### 里塚・美しが丘地区 はこんな街

#### 1.三里塚

昔、札幌の中心から三里の距離があることを示す塚があったことから「三里塚」と呼ばれていましたが、昭和19年に「三」の字をとって「里塚」と改称されました。

#### 2.市内で一番年齢が若い地区

地区の平均年齢が37.8歳と市内87地区中で最も若くなっています(昨年10月1日現在)。



「里美の風」編集会議に上田市長が参加

平成十五年十月に地域の町内会やNPO、ボランティア団体などが中心となり、住民組織「里美ふれあいクラブ」を設立しました。

このクラブを中心に「まちづくり情報誌『里美の風』」を発行し、地区の行政情報や歴史、住民活動の紹介など地域に密着した情報を提供しています。まちづくりセンターから、市政情報の提供、印刷作業などを手助けしていただきながら、地域の一万世帯すべてに配布しています。「里美の風」の編集には、クラブのメンバー

1のほか、地域にある札幌国際大学の学生も参加。これからは、情報誌の編集だけでなくさまざまな地域活動において学生と連携し、若い力を借りていければと考えています。また、毎週、地域住民を対象としたパソコン教室、出前講座、地域名人講座などさまざまな講座をまちづくりセンターで開催しており、多くの住民が参加しています。

さらにクラブでは、郷土の歴史を大切にしたいと考え、昨年は半世紀ぶりに「三里塚」の碑を復元設置しました。

クラブとしては地域のさまざまな人材を発掘し、人々が交流するきっかけを作ることができればと思っています。